

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2013年 第7週 （2月11日～2月17日）

## ★ お知らせ

**インフルエンザ 注意報値！**

- ◆ 県全体定点当たり引き続き注意報値超え！
- ◆ 定点医療機関迅速検査情報  
（小児科：A型 66% B型 34% 内科：A型 89% B型 11%）
- ◆ 感染力は大変強く、集団生活の場で注意
- ◆ 予防法は、手洗い、うがい、咳エチケット

### 咳エチケット

- ★ 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- ★ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- ★ 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
- ★ 咳やくしゃみをした後は、石鹸を使用して、よく手を洗いましょう。

## ★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	→	25.33	全体は引き続き注意報値を超している。安芸、須崎で増加し、幡多、中央西では警報値を、高知市、須崎、安芸、中央東では注意報値を超している。
感染性胃腸炎	↘	7.53	幡多で増加した。全体では減少している。
水痘	→	1.57	安芸、高知市、中央東で増加した。
RSウイルス感染症	↘	1.43	高知市、中央東で増加した。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	0.53	中央西、高知市、幡多で減少した。

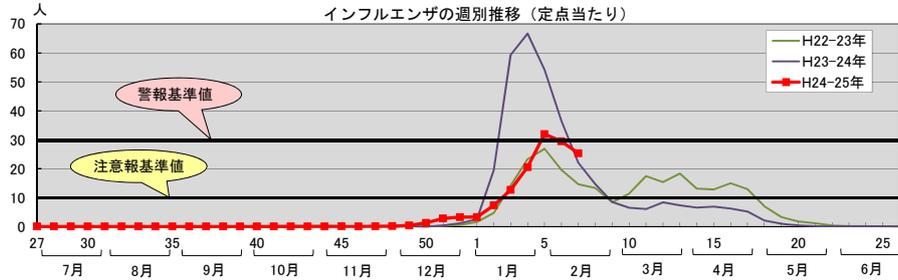
## ★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

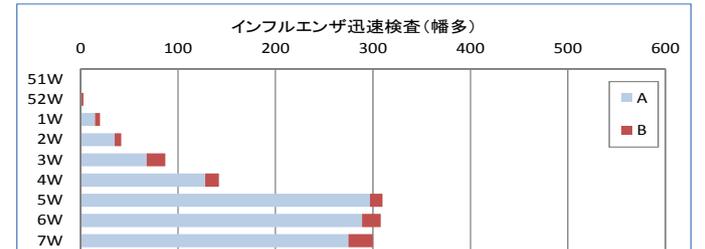
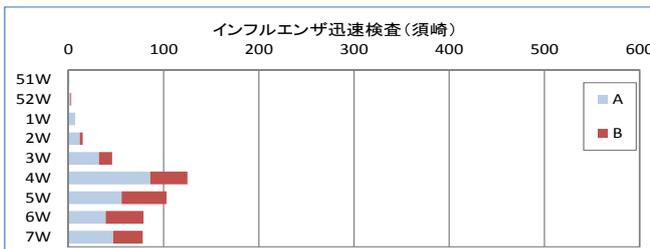
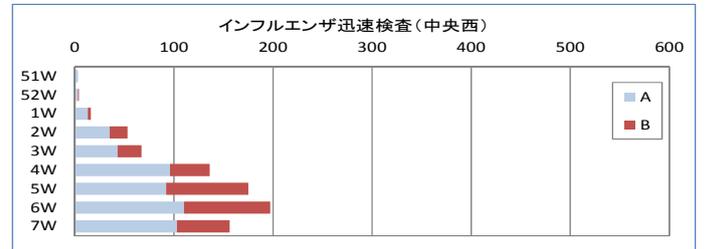
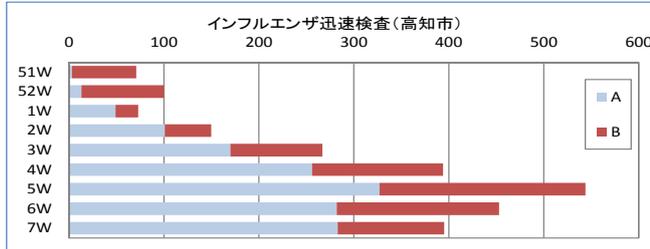
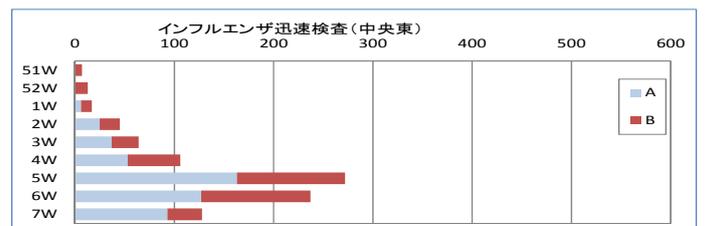
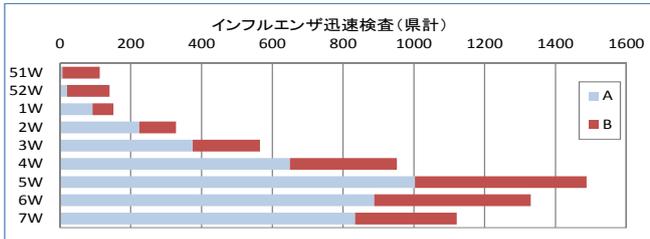
○インフルエンザ：25.33（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 25.33（前週：29.44）と減少しましたが、引き続き注意報値を超えています。安芸（20.75）須崎（21.50）で増加し、幡多（37.50）中央西（31.20）では警報値を、高知市（26.63）須崎、安芸、中央東（15.00）では注意報値を超えています。定点医療機関からの報告ではインフルエンザウイルスA型の割合がB型の2倍以上になっています。また、学校欠席者情報収集システムではインフルエンザウイルスB型の割合が多くなっています。病原体定点からもインフルエンザウイルスA型、B型両方が検出されており、両方に感染する可能性が考えられますので、引き続き手洗い、うがい、咳エチケットに心がけてください。



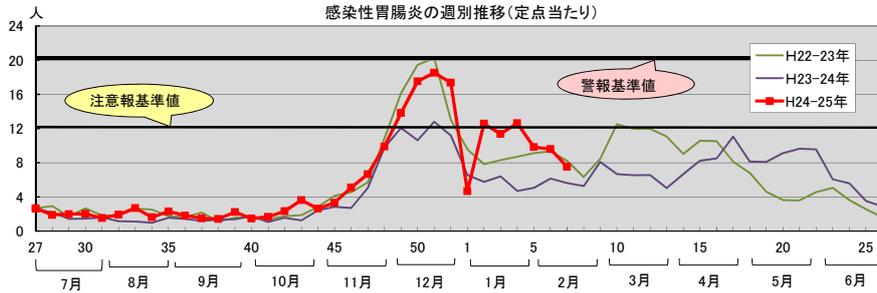
インフルエンザ迅速検査結果

報告週	安芸			中央東			高知市			中央西			須崎			幡多			合計		
	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B
51W	84		30	35		7	277	3	68	19	3	16	1	17	16	1	17		448	7	105
52W	50	1	16	66		13	308	13	87	38	3	1	34	2	1	14	1	2	510	20	120
1W	55	2	16	46	6	11	232	49	24	60	13	3	25	7		52	15	5	470	92	59
2W	66	16	7	124	25	20	404	101	49	104	35	18	45	12	3	129	35	7	872	224	104
3W	87	25	9	136	37	27	559	170	97	144	43	24	98	32	14	249	68	19	1273	375	190
4W	74	31	18	240	53	53	775	256	138	249	96	40	232	86	39	410	128	14	1980	650	302
5W	151	68	16	469	163	109	1055	327	217	323	92	83	184	56	47	620	297	13	2802	1003	485
6W	123	41	15	374	127	110	953	282	171	356	110	87	171	39	40	726	289	19	2703	888	442
7W	149	33	31	310	93	35	946	283	112	292	103	53	192	47	31	737	275	25	2626	834	287



○**感染性胃腸炎：7.53**（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり7.53（前週：9.60）と減少しました。定点医療機関からの情報ではロタウイルス（Rotavirus）による感染性胃腸炎の報告があり、病原体検出情報でもRotavirus group A G1が1例検出されています。感染力が強く今後も施設等での集団発生の危険性が考えられるので注意してください。予防方法の基本は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には入念に手洗いをしましょう。



★ **病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
6	マイコプラズマ	6	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
4	インフルエンザ	3	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	9	男	須崎	Influenza virus B/Victoria
4	インフルエンザ	5	男	高知市	Rhinovirus
4	気管支炎	1	女	中央東	Rhinovirus
4	ウイルス性発疹症	1	男	高知市	Respiratory syncytial virus A
4	—	1	女	中央東	Respiratory syncytial virus A
5	咽頭炎、喘息	7	女	高知市	Rhinovirus
5	感染性胃腸炎	1	男	高知市	Rotavirus group A G1

★ **全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	2	15	70歳代（女）	中央東
				90歳代（女）	中央西

★ **定点医療機関からのホット情報**

保健所	医療機関	情 報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 2例（4歳女） ロタウイルス腸炎 1例（10歳男）
中央東	あけぼの小児科クリニック	マイコプラズマ肺炎 1例（6歳男） アデノウイルス咽頭炎 2例（1、2歳）
	高知大学医学部附属病院小児科	ロタウイルス腸炎 1例（2歳男）
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 2例（4歳男女） アデノウイルス扁桃炎 1例（3歳男）
	細木病院小児科	ノロウイルス（+）4例（8ヶ月女、1、2歳男） ロタウイルス（+）1例（8ヶ月女）
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 4例（男2名、女2名） 感染性胃腸炎 10例（男5名、女5名）
中央西	日高クリニック	带状疱疹 1例（23歳男）
	くぼたこどもクリニック	口唇ヘルペス 1例（8歳女）
須崎	もりはた小児科	ロタウイルスが初めて検出 1例（1歳女） ヘルペス性歯肉口内炎 2例（4、5歳の兄妹）
幡多	松谷内科	水痘 1例（3歳男）

※ インフルエンザ情報につきましては迅速検査結果に反映させていただいておりますので、ホット情報では省略させていただきます。

## ★ 全国情報

### 第5週 (1/28~2/3)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核322例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症12例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、つつが虫病7例、マラリア1例、レジオネラ症13例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群21例、ジアルジア症1例、梅毒9例、破傷風1例、急性脳炎7例、風しん59例、麻しん7例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、エキノコックス症2例、デング熱3例、類鼻疽1例、アメーバ赤痢1例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎8例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

## ◆インフルエンザ

インフルエンザ (Influenza) は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。典型的な発症例では1~4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱 (38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている。

インフルエンザの感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生が重要である。インフルエンザでは、たとえ感染者であっても、全く症状のない不顕性感染例や、感冒様症状のみでインフルエンザウイルスに感染していることを本人も周囲も気が付かない軽症例も少なくないため、特にヒト-ヒト間の距離が短く、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等の小児の集団生活施設においては可能である場合は職員も含めて全員が咳エチケット、手指衛生を実行すべきである。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所 (小児科定点約3,000、内科定点約2,000) のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの定点当たり報告数は2012年第43週以降14週連続して増加していたが、2013年第5週の定点当たり報告数は35.82 (報告数177,271) となり、前週 (定点当たり報告数36.44) よりも減少した。都道府県別では新潟県 (51.61)、愛知県 (48.27)、愛媛県 (45.26)、長崎県 (43.33)、鹿児島県 (43.28)、千葉県 (42.53)、埼玉県 (41.56)、沖縄県 (41.28)、長野県 (40.80)、宮崎県 (40.66)、福岡県 (40.54) の順となっている。定点当たり報告数の全国値は減少したが、30道府県で前週の報告数よりも増加がみられた。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約208万人 (95%信頼区間：193万人~223万人) とこちらも前週の推計受診者数 (約214万人) よりもやや減少したが、2週連続して約200万人を上回った。2012年第36週以降これまでの累積の推計受診者数は約726万人 (95%信頼区間：702万人~750万人) であり、年齢群別では5~9歳約103万人、30代約96万人、10~14歳約84万人、40代約83万人、0~4歳、20代共に約79万人の順であった。また70歳以上は約44万人と、昨シーズンの同時期の累積の推計受診者数 (約27万人) (以上全て暫定値) を大きく上回っている。

全国約500カ所の基幹病院定点からのインフルエンザによる入院患者の報告数をみると、2013年第5週の報告数は1,402人であり、2012年第36週以降これまでの累積報告数は5,049人となった。累積報告数の年齢群別内訳は、80歳以上1,556人 (30.8%)、0~4歳965人 (19.1%)、70代941人 (18.6%)、60代465人 (9.2%)、5~9歳374人 (7.4%) の順であり、60歳以上と9歳以下の入院例が全体の85.2%を占めている。

インフルエンザの重篤な合併症であるインフルエンザ脳症は、2004年4月より急性脳炎の発生動向調査の一環として報告されるようになった。今シーズンはこれまでに16都道府県から33例 (男性19例、女性14例、33例中5例は死亡報告あり) の報告があった。診断週別にみると、2012年第51週以降継続的に報告があり、2013年第3週に11例と最多の報告数となっているが、第4週、第5週の報告数は今後さらに増加する可能性がある。年齢は0~80歳 (中央値8歳、平均値23.2歳) で、これまでのところ小児では5歳が4例と最も多く、成人では60~79歳の年齢群が6例となっている。ウイルス型別ではA型26例 (78.8%、うちAH1pdm09が0例、AH3亜型が3例)、B型3例 (9.1%)、型別不明4例 (12.1%) となっており、今シーズンの流行を反映してA型が多数を占めている。

2012年第36週~2013年第4週までに国内では1,783検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm09が49件 (2.7%)、AH3亜型 (A香港型) が1,597件 (89.6%)、B型が137件 (7.7%) と、これまでのところAH3亜型が大半を占めている状態が続いている。

第5週はインフルエンザの報告数は前週よりも減少したが、全国的にはまだ本格的な流行が続いている。今後ともインフルエンザの発生動向には注意深い観察が必要である。

-----

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第7週 平成25年2月11日(月)～平成25年2月17日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(6週)	高知県(7週未累計)		全国(6週未累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/12/31～H25/2/17	H24/12/31～H25/2/10		
インフルエンザ	インフルエンザ	83	165	426	156	86	300	1,216 ( 25.33)	1,413 ( 29.44)	131,545 ( 26.70)	6,266 ( 130.54)	679,931 ( 138.51)		
小児科	咽頭結核熱		1	1				2 ( 0.07)	1 ( 0.03)	916 ( 0.29)	5 ( 0.17)	5,064 ( 1.62)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	4	6	1	2	16 ( 0.53)	28 ( 0.93)	6,251 ( 1.99)	128 ( 4.27)	29,457 ( 9.42)		
	感染性胃腸炎	9	39	113	27	6	32	226 ( 7.53)	288 ( 9.60)	24,353 ( 7.75)	2,046 ( 68.20)	135,694 ( 43.41)		
	水痘	5	10	16		3	13	47 ( 1.57)	40 ( 1.33)	4,066 ( 1.29)	382 ( 12.73)	26,019 ( 8.32)		
	手足口病						2	2 ( 0.07)	5 ( 0.17)	546 ( 0.17)	26 ( 0.87)	3,228 ( 1.03)		
	伝染性紅斑			1				1 ( 0.03)	( )	153 ( 0.05)	15 ( 0.50)	986 ( 0.32)		
	突発性発疹			4	2	1	1	8 ( 0.27)	8 ( 0.27)	1,451 ( 0.46)	66 ( 2.20)	7,946 ( 2.54)		
	百日咳							( )	( )	35 ( 0.01)	4 ( 0.13)	174 ( 0.06)		
	ヘルパンギーナ							( )	1 ( 0.03)	67 ( 0.02)	1 ( 0.03)	355 ( 0.11)		
	流行性耳下腺炎			2				2 ( 0.07)	3 ( 0.10)	631 ( 0.20)	17 ( 0.57)	4,370 ( 1.40)		
眼科	RSウイルス感染症		9	22	7	1	4	43 ( 1.43)	59 ( 1.97)	1,423 ( 0.45)	348 ( 11.60)	10,469 ( 3.35)		
	急性出血性結膜炎							( )	( )	14 ( 0.02)	( )	95 ( 0.14)		
基幹	流行性角結膜炎							( )	( )	318 ( 0.47)	2 ( 0.67)	2,019 ( 2.98)		
	細菌性髄膜炎							( )	( )	11 ( 0.02)	( )	42 ( 0.09)		
	無菌性髄膜炎							( )	( )	14 ( 0.03)	( )	63 ( 0.14)		
	マイコプラズマ肺炎			1				1 ( 0.13)	10 ( 1.25)	261 ( 0.56)	35 ( 5.00)	1,842 ( 3.95)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	1 ( 0.13)	15 ( 0.03)	2 ( 0.29)	91 ( 0.20)		
計	97	227	590	198	98	354	1,564	( 36.90)	172,070	9,341	( 231.77)	907,845		
(小児科定点当たり人数)	( 27.75)	( 23.86)	( 41.43)	( 45.20)	( 27.50)	( 48.30)								
前週	91	365	666	248	106	381		1,857						
(小児科定点当たり人数)	( 27.50)	( 37.21)	( 46.39)	( 56.40)	( 32.50)	( 52.88)		( 43.87)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(6週)	高知県(7週未累計)		全国(6週未累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/12/31～H25/2/17	H24/12/31～H25/2/10		
インフルエンザ	インフルエンザ	20.75	15.00	26.63	31.20	21.50	37.50	25.33	29.44	26.70	130.54	138.51		
小児科	咽頭結核熱		0.14	0.09				0.07	0.03	0.29	0.17	1.62		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.43	0.36	2.00	0.50	0.40	0.53	0.93	1.99	4.27	9.42		
	感染性胃腸炎	4.50	5.57	10.27	9.00	3.00	6.40	7.53	9.60	7.75	68.20	43.41		
	水痘	2.50	1.43	1.45		1.50	2.60	1.57	1.33	1.29	12.73	8.32		
	手足口病						0.40	0.07	0.17	0.17	0.87	1.03		
	伝染性紅斑			0.09				0.03		0.05	0.50	0.32		
	突発性発疹			0.36	0.67	0.50	0.20	0.27	0.27	0.46	2.20	2.54		
	百日咳									0.01	0.13	0.06		
	ヘルパンギーナ								0.03	0.02	0.03	0.11		
	流行性耳下腺炎			0.18				0.07	0.10	0.20	0.57	1.40		
眼科	RSウイルス感染症		1.29	2.00	2.33	0.50	0.80	1.43	1.97	0.45	11.60	3.35		
	急性出血性結膜炎									0.02		0.14		
基幹	流行性角結膜炎									0.47	0.67	2.98		
	細菌性髄膜炎									0.02		0.09		
	無菌性髄膜炎									0.03		0.14		
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13	1.25	0.56	5.00	3.95		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.03	0.29	0.20		
計	27.75	23.86	41.43	45.20	27.50	48.30	36.90			231.81				
(小児科定点当たり人数)														
前週	27.50	37.21	46.39	56.40	32.50	52.88		43.87						
(小児科定点当たり人数)														

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869